

## はじめに

生成 AI (例: ChatGPT など) は学習や作業の効率化に役立ちますが、誤情報の提供や著作権侵害のリスクも伴います。本ガイドラインは、生成 AI を適切に利用するための指針を提供し、生徒の学びと創造力を守ることを目的としています。

### 1. 基本的な考え方

#### (1) 生成 AI の特性とリスクの理解

- 生成 AI は誤った情報を生成することがあるため、利用者は常に情報の正確性を検証する必要があります。
- 生成 AI の出力は参考情報に過ぎず、最終的な判断や結論は利用者自身の責任で行うことが重要です。

#### (2) 利用規約の遵守

- 生成 AI ツールの利用規約や年齢制限を遵守し、保護者の同意が必要な場合は必ず取得してください。
- 本校の授業で生徒が利用する場合、保護者または法定代理人の同意書を提出することになります。

### 2. 生成 AI の利用に関する具体的な指針

#### (1) 個人情報や機密情報を入力しない

- 生成 AI に個人情報や機密情報を入力することは禁止されています。

#### (2) 倫理性・社会性に反する回答を引き出すような質問はしない

- 倫理的・社会的に問題のある回答を引き出す質問は行わないように注意してください。

#### (3) 著作権を侵害しないように配慮する

- 他人の著作権を侵害しないよう、生成 AI の出力物を利用する際には注意が必要です。

#### (4) 生成 AI の出力の検証

- 生成 AI が提供する情報の正確性を必ず検証し、信頼できる情報源で確認してください。

#### (5) 教員の指示に従うこと

- レポートや課題の作成に生成 AI を利用する場合は、必ず担当教師の指示に従ってください。指示に従わない場合、提出物は受理されないことがあります。

### 3. 学習活動における生成 AI の活用例

#### (1) 情報モラル教育

- 生成 AI が生成する誤情報を教材として使用し、情報の真偽を確認する重要性を学ぶことができます。

#### (2) ディスカッションの素材として

- 社会的な論議やグループディスカッションの素材として生成 AI を活用し、幅広い視点を提供します。

#### (3) 言語学習の補助

- 英会話の相手としてや、自然な英語表現の改善、単語リストや例文リストの作成などに利用できます。

### 4. チェックリスト

#### (1) 利用規約の遵守

- 各生成 AI ツールの利用規約や年齢制限を遵守しているか確認する。

#### (2) 個人情報の入力防止

- 個人情報やプライバシーに関する情報を生成 AI に入力していないか確認する。

#### (3) 著作権の確認

- AI が生成したコンテンツが他人の著作物を侵害していないか確認する。

#### (4) 自己判断の重要性

- 生成 AI に全てを委ねるのではなく、最後は自己の判断や考えが重要であることについて十分に理解する。